
1. 目的

1.目的

■目的

エネルギー・マネジメント・システム(EMS)の導入を促進するため、
地域住民のニーズに即したEMS活用サービスを提供。
それにかかるビジネスモデルを実証する。



■EMS活用サービス

●エネルギー管理サービス

- ・タブレット上で、電力使用状況を基にした電力使用量の把握や節電アドバイスを提示し、節電行動を促進

●地域課題に即した生活支援サービス(高齢者の見守り)

- ・テレビとHEMSを使った見守りサービスを提供

●地域課題に即した健康管理サービス(健康アドバイス等)

- ・エネルギー管理サービスで利用のタブレットに、アプリケーション(名称:「未病倶楽部」)を搭載し、健康管理サービスを提供